

岩手県にてHDD工法設計・積算要領の 説明会と工法普及活動を行なう

2月23日、岩手県盛岡市のホテルルイズにおいてHDD工法設計・積算要領の説明会を開催し地方自治体やコンサルタント、施工業者など岩手県内をはじめ近県から27名が参加した。はじめに小谷野HDD工法委員長から「HDD工法は世界で最も普及している工法であり、また、環境にやさしい。公共事業費が縮小されている昨今であるが、日進量が十分に稼げ経済性にも優れた工法である。是非、みなさんの仕事に役立てて欲しい。」と挨拶した。

森田事務局長から当協会において「HDD工法普及への取り組み」としてHDD工法委員会の活動内容を紹介。昨年4月から技術資料の統一化を目的にHDD工法委員会が設置され、9月にはHDD工法設計・積算資料（案）を出版。HDD工法施工見学会の開催し240名を集客し非常に関心が高かったことなどを説明。今後の活動としては、工法の普及拡大と設計・積算資料の改訂、管布設以外への工法の適用拡大などがあることを紹介した。

つづいてHDD委員会の原田委員から、HDD工法設計・積算要領（案）の解説を行なった。HDD工法の独自の考え方や具体的な積算例を示した。最後に「今回のHDD工法設計・積算要領はあくまで案であり、実際にそぐわない場合もあり得る。みなさまからの不明な点や疑問などがあれば、是非、ご指摘いただきたい。」と解説を締めた。

翌24日は、小谷野委員長と森田事務局長とが国土交通省岩手国道事務所、岩手県、岩手県下水道公社、水土里（みどり）ネットいわてなど数箇所を訪問しHDD工法の普及活動を行なった。訪問先では非開削工法のなかでも推進工法への認知度は非常に高い反面、HDD工法については、ほとんど知られておらず、具体的な施工実績を示し適用事例などを説明して欲しいとの要望があった。今後、HDD工法普及拡大には、施工実績表など広報ツールの作成と今回のように地方での説明会を開催し、発注者は基より地元の施工業者へも地道な普及活動が必要であると感じた。



写真-1 あいさつをする小谷野委員長



写真-2 HDD工法普及への取り組みを説明する森田事務局長



写真-3 設計・積算要領の解説をする原田委員



写真-4 岩手県国土整備部において普及活動のようす